

建築物名称	JATCO)左富士寮新築工事
受付日	令和2年9月7日
建物所在地	富士市依田橋町297-1外
構造規模等	鉄筋コンクリート造/地上5階/ 延床面積5,103.69平方メートル/新築
建物用途区分	共同住宅
建築主	日産ネットワークホールディングス株式会社 不動産事業本部 副本部長 鈴木 猛
設計者	大成ユーレック株式会社 一級建築士事務所 藤井 優介
工事完了予定日	令和3年8月31日

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	JATCO)左富士寮新築工事	階数	地上5F
建設地	静岡県富士市依田橋町297-1外	構造	RC造
用途地域	工業地域、防火指定無し	平均居住人員	240 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年8月 予定	評価の実施日	2020年8月30日
敷地面積	6,281 m ²	作成者	大成ユーレック(株)
建築面積	1,061 m ²	確認日	2020年8月30日
延床面積	5,104 m ²	確認者	大成ユーレック(株)



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	一次エネルギー消費量(BEI)を低く抑える計画とし、省エネルギー性に配慮している。車寄せスペース、マイクロバス待合スペース等を設置し、交通負荷の抑制に努めている。	その他
Q1 室内環境	F☆☆☆☆の内装建材を採用し、室内空気環境に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	LED照明設備を採用することで省エネルギーに配慮している。	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	設備は耐用年数の長い配管材を採用し建物の長寿命化に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	P/S内配管等により設備との錯綜を回避し、部材の再利用の可能性を高めている。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要				
建物名称	JATCO)左富士寮新築工事	BEE	1.1	BEEランク B+ ★★

2. 重点項目への取組み度				
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.0 /5		ふつう	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.5 /5		がんばろう	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.0 /5		ふつう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	3.0 /5		ふつう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4点以上	ふつう 3点以上
			がんばろう 3点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。				
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	3.0	
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ③カーテン+庇(バルコニー)にて昼光制御 ④壁)20年(ビニルクロス貼り)、天井)30年(ビニルクロス貼り)、床)20年(フローリング貼り) ④給水)ポリエチレン管(B)、雑排水)耐火二層管(B)、汚水排水耐火二層管(B)、Eは不使用	Q-1 2 2.1 2.2 Q-1 3 3.1 3.1.3 3.2 3.2.1 Q-2 2 2.2 2.2.1 2.2.2 2.2.3 2.2.4 2.2.5 2.2.6	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上	
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑨LED照明の採用等設備システムの効率化	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制	
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑫PS配管により設備との錯綜を回避。 ⑬断熱材はノンフロ製品を採用	LR-2 1 1.1 1.2 2 2.1 2.1.1 2.1.2 2.1.3 2.1.4 2.1.5 2.1.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒	
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善	
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点	2.5	
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2 2 2.1 2.1.1 2.1.2 2.4 2.4.1 2.4.2 2.4.3 2.4.4 2.4.5	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備	
	■"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)	得点	3.0	
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)	Q-2 1 1.1 1.1.3 3 3.1 3.1.1 3.1.2	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ	
	■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)	Q-3 3 3.1	㉑ 地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	3.0	
	■室外環境(敷地内)対策 (②生物環境の保全と創出/②まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 2 3 3.2	② 生物環境の保全と創出 ② まちなみ景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上	
	■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善)	LR-3 2 2.2	⑬ 温熱環境悪化の改善	